

第2学年 外国語科学習指導案

令和5年12月5日(火)3限

大分市立王子中学校2年5組

指導者 甲斐しのぶ

John Matthew Grose Jr.

1. 単元名 姉妹校の歓迎会で王子中学校ができる最高のアクティビティを提案しよう。

(NEW CROWN English Series Lesson5 Things to Do in Japan)

2. 単元設定の理由

(1) 教材について

本教材では、登場人物のジンたちが、ニュージーランドの姉妹校から来る中学生の歓迎会を計画する場面が設定されている。外国からの観光客に人気のある体験アクティビティをインターネットで調べて、姉妹校にメールで提案し、その回答を読んで、歓迎会の内容を考えるという内容である。

言語材料としては、形容詞の比較級・最上級、副詞の比較級・最上級、同等比較を学習する。二つ以上のものや人を比較し、表やグラフでプレゼンテーションをする場面でよく用いられる。

(2) 生徒について

5月の大分県学力定着状況調査の質問紙調査では①「英語の勉強はどれくらい好きですか」という問いに対して、「とても好き」15.6%、「好き」31.3%、「あまり好きでない」40.6%、「まったく好きでない」12.5%という結果であった。②「英語の授業はどのくらい分かっていますか」という問いに対して、「よくわかっている」18.8%、「だいたいわかっている」28.1%、「あまりわかっている」40.8%、「まったくわからない」12.5%という結果が出ている。

領域別では、「聞くこと」の領域において、英文の要点を捉えて自分の考えを答える問題では、目標値が30.0に対して12.5ポイントであり、無解答率は28.1%であった。「読むこと」の領域では、メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させる問題では、目標値が30.0に対して正答率が18.8ポイントであり、無解答率は62.5%であった。また、3文以上の英作文の問題において無解答率は50.0%であった。

英語に関する興味や関心があっても、どのように英語を勉強していけば良いか困っている生徒に対して、学習方略を示す必要がある。

(3) 指導にあたって

英語に苦手意識を持つ生徒が多くいるため、実際に英語を使う場面を意識して指導することで、意欲的に取り組めるようにしたい。9月に実施したアメリカのズームフレンドとの交流会で、生徒は、自分の英語が実際に通じたことに驚きや喜びを感じていた。そこで、本単元では文化交流という題材を通して、コミュニケーションをすることの楽しさを感じさせながら、相手の意向を理解した上で、自分から発信することが大切だということに気付かせたい。

指導にあたっては、対話文やメールの文について、目的や場面、状況などを理解させた上で、自分が必要とする情報が何かを意識させながら読ませる。姉妹校からのメールでは、日本文化に関する3つのアクティビティを姉妹校の生徒が希望していることが記載されている。メールが王子中学校に送られてきたと設定し、メールを読んだ後に、グループごとにプレゼンテーションをして王子中学校ができる最高のアクティビティを選ばせたい。その際、スライドを用いて、①メールのアクティビティの情報を伝

え、②実際に王子中学校または大分市でできることを選択し、③他の二つのアクティビティを選択しない理由を含めてプレゼンテーションを行う。

また、アメリカのズームフレンドと交流するために、日本の中学生に人気のあるものを調べて、伝えさせたい。アンケートを取り、その結果について、事実と自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文を書かせたい。

3. 単元の目標

姉妹校からの歓迎会のアクティビティに関するアンケートの返信のメールを読んで、要点を捉えるとともに、その内容をもとに、どのアクティビティをするとよいか自分の考えを伝え合うことができるようにする。

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	ア・ウ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
------	--

※本単元における「話すこと（やりとり）」については、目標に向けての指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 比較表現の特徴やきまりを理解している。 <技能> 比較表現の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身につけている。	歓迎会で行うアクティビティの得票数とアクティビティの例をまとめるために、姉妹校の生徒の意見について書かれたメールを読んで、その要点を捉えている。	歓迎会で行うアクティビティの得票数とアクティビティの例をまとめるために、姉妹校の生徒の意見について書かれたメールを読んで、その要点を捉えようとしている。

6. 指導と評価の計画

○…指導に生かす評価 ◎…記録に残す評価

時	学習活動	知	思	主	評価規準
1	①本単元の目標を知り、見通しをもつ。 ・Progress カードを配布し、単元の目標を達成するために、どんな工夫をしてみたいか考え、話し合う。 ②姉妹校の生徒が王子中に来たらどんな歓迎会ができるのか、考えさせる。	○			<知識・技能> 歓迎会の内容について、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。
2	①Part1 の会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、聞き取った情報を伝え合う。 ・本文を聞く前に質問を聞き、予想をする。 ・予想があっているかどうか本文を読んで確認をする。 ②本文の中で、比較表現がどのように使われているかを確認し、retelling をする。	○			<知識・技能> 比較表現 (-er/-est) の特徴やきまりを理解し、英文の中で正しく用いている。

3	<p>①形容詞の比較級 (-er/-est) を活用して、国や都市の面積について話された英文の内容を聞き取る。</p> <p>②日本の都道府県の面積などについて、形容詞の比較級(-er/-est) などを用いて、クイズの質問や答えなどを即興で伝え合ったり、書いたりする。</p> <p>③ロイロノートのテスト機能を活用し、文法を確認する。</p>	○		<p><知識・技能></p> <p>日本の都道府県の面積などについて比較した英文について、正しく聞き取っている。</p>
4	<p>①Part 2 の会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、聞き合った情報を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を聞く前に、T or F を聞き、予想をする。 <p>②本文の中で、比較表現がどのように使われているかを表と関連させながら確認し、retelling する。</p>	○		<p><知識・技能></p> <p>比較表現 (more/most) の特徴やきまりを理解し、英文の中で正しく用いている。</p>
5	<p>①形容詞の比較級 (more/most) などを利用してアンケートの結果について話された英文の内容を聞き取る。</p> <p>②無人島に行くとしたら何を持っていくかについて、形容詞の比較級 (more/most) などを用いて、自分の考えを伝え合ったり、書いたりする。</p>	○		<p><知識・技能></p> <p>無人島に行くとしたら何を持って行くかについて、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。</p>
6	<p>①Part 3 の日本への観光客の感想を読んで、旅行先でしたことや感想を読み取り、読み取った情報を伝え合う。</p> <p>②本文の中で同等比較 (as~as) ・副詞の比較級がどのように使われているか確認し、retelling をする。</p>	○		<p><知識・技能></p> <p>比較表現 (同等・副詞) の特徴やきまりを理解し、英文の中で正しく用いている。</p>
7	<p>①文化祭の出し物のアンケート結果の発表を聞き取る。</p> <p>②好きな食べ物について、同等比較 (as~as) ・副詞の比較級を用いて、自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、書いたりする。</p>	○		<p><知識・技能></p> <p>好きな食べ物について、比較表現を正しく用いて伝え合っている。</p>
8	<p>歓迎会で行うアクティビティの得票数とアクティビティの例をまとめるために、姉妹校の生徒たちの意見について書かれたメールを読んで、要点を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールで伝えることや送る相手について確認する。 ・段落の構成について考えさせる。 ・3つのアクティビティを選んだ生徒の数とそれぞれ、したいことについて書かれた英文を選ぶ。 ・内容について True or False で確認をする。 ・メールの要点を表にまとめる。 	◎	◎	<p><思・判・表> 《姉妹校の生徒たちの意見について書かれたメールを読んで、要点を》読み取っている。</p> <p><主体的> 《同上》読み取ろうとしている。</p>
9 本時	<p>姉妹校の歓迎会で王子中学校ができる最高のアクティビティを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT の日本文化体験活動についてのプレゼンテーションを聞く。 ・歓迎会でするアクティビティを決定する。 ・プレゼンテーションの内容を個人で考えたのち、グループで作成する。 	○	○	<p><思・判・表> 《歓迎会のアクティビティについて、3つの点を意識しながら、既習事項を使うなどして内容を考えて》伝えている。</p> <p><主体的> 《同上》伝えようとしている。</p>

10	グループごとにプレゼンテーションをし、歓迎会の内容を決定する。 ・グループでプレゼンテーションの練習をする。 ・グループごとにプレゼンテーションし、王子中学校での歓迎会の最高のアクティビティを決定する。		○	○	<思・判・表>《歓迎会のアクティビティについて、3つの点を意識しながら、既習事項を使うなどして内容を考えて》伝えている。 <主体的>《同上》伝えようとしている。
11	アメリカのズームフレンドと交流するために、日本の中学生に人気のあるものの結果について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文を書く。	○	○	○	<知識・技能>日本の中学生にとって人気のあるものについて、比較表現などを正しく用いて書く技能を身に付けている。 <思・判・表>《日本の中学生にとって人気のあるものについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて》書いている。 <主体的>《同上》書こうとしている。
12	単元テスト	◎	◎	◎	

7. 本時案 (9/12)

(1) 題目 姉妹校の歓迎会で王子中学校ができる最高のアクティビティを提案しよう。

(2) ねらい

歓迎会でお勧めするアクティビティについて、ALT のモデルを参考にして、効果的なプレゼンテーションにするためには「相手の意向に応じること」「実現可能であること」「提案理由を明確にすること」が大切であることに気付くとともに、それらの視点に沿ってグループで作成したり改善点を検討したりする活動を通して、プレゼンテーションを作成することができるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動	教師の指導及び支援	評価
5	1. ALT のお勧めの文化体験活動のプレゼンテーションを聞く。	○ALT の日本での文化体験活動に関するプレゼンテーションから、必要な情報を聞き取らせる。 ・効果的なプレゼンテーションをするために、どのような工夫がされているか考えさせる。	
2	2. 本時のめあてを理解する。	○単元のゴールを確認した上で、本時のめあてを位置づける。	
めあて 姉妹校の歓迎会で王子中学校ができる最高のアクティビティを提案しよう			
10	3. 最高のアクティビティについてのプレゼンテーションを個人で考える。	○歓迎会でお勧めするアクティビティのプレゼンテーションを作成するために、ALT のモデルを参考にして、次の3点から考えさせる。 ①相手の意向に応じること メールに書かれた3つのアクティビティについて、姉妹校の生徒がしたいことやその理由な	

<p>18</p> <p>4. プレゼンテーションの原稿をグループで作成する。</p>	<p>②実現可能であること 時間や費用、場所など、実際に王子中や大分市でできるかどうかを考えながら、アクティビティを1つ選択する。</p> <p>③提案理由を明確にすること 選ばなかった2つのアクティビティについて、その理由を述べる。</p>	<p>○グループでお互いの意見を交換しながら、プレゼンテーションを作成させる。</p> <p>・役割分担を決める。(司会、原稿作成、スライドの準備、発表者)</p> <p>・お互いの意見が交換できるように支援をする。</p> <p>・3つの点を意識してプレゼンテーションを作成するよう指導する。(JET)</p> <p>・作成したプレゼンテーションの言語面や表現面について指導する。(ALT)</p>	<p>〈思考・判断・表現〉 歓迎会のアクティビティについて、3つの点を意識しながら、既習事項を使うなどして内容を考え、伝えていく。</p> <p>〈主体的な態度〉歓迎会のアクティビティについて、3つの点を意識しながら、既習事項を使うなどして内容を考え、伝えていく。</p>
<p>5</p> <p>5. 発表を聞き、プレゼンテーションの改善点を検討する。</p>		<p>○教師が選んだ2つのグループに発表させ、その発表を聞きながら、グループで作成したプレゼンテーションに改善点を検討させる。</p> <p>・3つの点に沿った内容になっているか。</p> <p>・相手に伝わるような工夫がなされているか。</p>	
<p>8</p> <p>6. プレゼンテーションを再構成する。</p>		<p>○発表を参考にし、プレゼンテーションを見直し、再度検討させる。</p>	
<p>2</p> <p>7. 振り返りをする。</p>		<p>○振り返りカードに記入させる。</p> <p>・次回の発表会で最高のプレゼンテーションができるように準備をしておくことを伝える。</p>	